

岡安証券 ～注目・外株銘柄～ (2024年9月)

【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2024年8月29日現在)

<新規>

- P1【医療機器】 インテュイティブ・サージカル(ISRG)
P2【ネットサービス】 メルカドリブレ(MELI)

<継続>

- P3【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
P4【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
P5【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
P6【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)
P7【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
P8【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
P9【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
P10【製薬大手】 イーライ・リリー(LLY)
P11【半導体設計】 アーム・ホールディングスADR(ARM)
P12【半導体】 台湾セミコンダクターADR(TSM)
P13【半導体】 ブロードコム(AVGO)
P14【半導体】 マイクロン・テクノロジー(MU)
P15【半導体】 KLA(KLAC)
P16【セキュリティ】 パロアルト・ネットワークス(PANW)
P17【SaaS系企業】 サービスナウ(NOW)
P18【ITサービス】 IBM(IBM)
P19【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)
P20【エネルギー】 キンダー・モルガン(KMI)

<新規>

- 外科手術ロボット「ダビンチ」を開発・製造
南米拠点の電子商取引・決済サービス大手

<継続>

- 時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
ソフトウェア世界最大手
デジタルIT機器の設計・販売大手
インターネット検索世界最大手
インターネット小売世界最大手
SNS運営世界最大手
米電気自動車(EV)大手
肥満症薬で注目される米製薬大手
省エネ型の半導体設計技術を提供
半導体受託製造の世界最大手
企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
米半導体メモリ大手
半導体製造装置(前工程)大手
次世代ファイアウォール大手・統合型サイバーセキュリティ企業
業務自動化クラウド企業
連続増配実績を持つIT業界の老舗企業
動画配信の世界最大手
北米最大級の天然ガス等のパイプライン運営企業

外科手術ロボットを製造・販売。24年3月に新型「ダ・ビンチ5」の医療機器認証を獲得

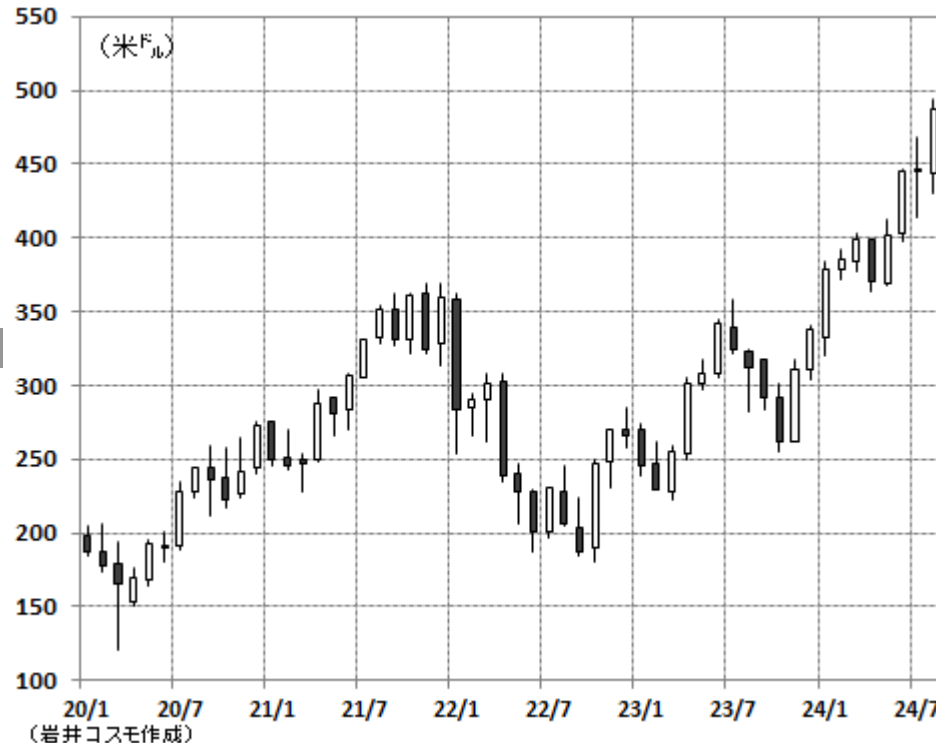
会社概要

「ダ・ビンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供できるのが特徴。24年6月末の稼動状況は、全世界で9,203台。23年度の全世界の手術件数実績は約229万件。日本の病院でも同社ロボット手術が普及、約600台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。24年3月に「ダ・ビンチ5」のFDA認証を獲得。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ビンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **肥満外科手術の減少を相殺し拡大続く**: 4-6月期は前年同期比14%増収・22%営業増益。新型「ダ・ビンチ5」を70台出荷した。手術件数の伸びは同17%増を記録、肥満症薬の普及で肥満外科手術が同1桁台半ばに減少も、ヘルニア修復等の一般外科手術が伸びた。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	487.17 (08/29)
52週高値(日付)	493.84 (24/08/23)
52週安値(日付)	254.88 (23/10/30)
時価総額	1,731億 ^{ドル} 25兆1,004億円
株価変化率(%)	26.3 (過去6ヶ月間) 57.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	83.5 (倍)
株価売上高比率	22.7 (倍)
PBR	11.8 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	15.7 (%)
株式ベータ	1.30 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	6,222	9	1,577	-13	1,322	-22	3.65	0.00
2023/12	7,124	14	1,767	12	1,798	36	5.03	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	1,756	—	463	—	421	—	1.18	0.00
2024/Q2	2,010	14	567	22	527	25	1.46	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

南米拠点の電子商取引・決済サービス大手、独自の経済圏を構築

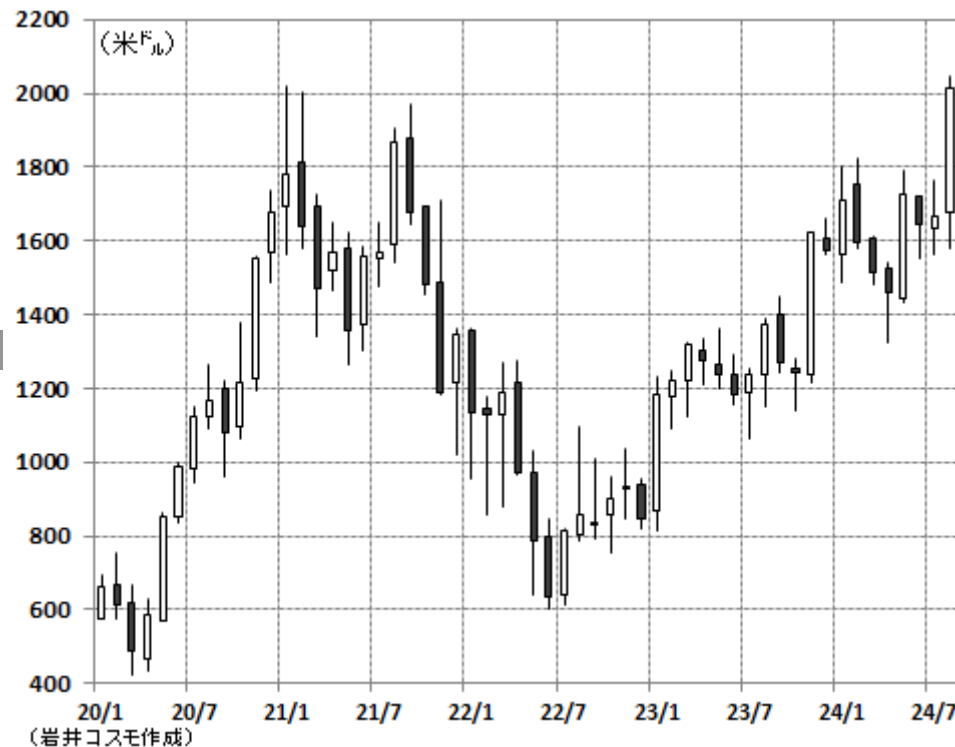
会社概要

1999年設立の中南米最大の電子商取引会社。B2CやC2Cの電子商取引サイト「Mercado Libre(スペイン語で自由な市場)」を運営。中南米中心に世界18カ国に拠点。地域別売上構成比(23年度)はブラジルが53%、アルゼンチンが22%、メキシコが21%、その他が5%。23年度の利用者数は2.18億人。電子商取引以外に決済サービスの「メルカドパゴ」、配送事業、個人事業主を対象の金融事業等も手がける。

注目ポイント

□ **独自の経済圏を構築**: メルカドリブレは電子商取引業を祖業とするが、アマゾンやペイパル等の米国大手を見習って自前の配送システムを構築したり、直接仕入れ販売型の事業に参入したり、またスマホ上で完結できる決済サービスはネット上以外に実店舗決済まで拡大するなど、南米で独自の経済圏を構築してきた。近年はクレジットカードの与信を含むフィンテック事業の金融収益も業績拡大に寄与している。

□ **黒字化・現金収支も改善**: 競合に打ち勝って規模・範囲の経済性を発揮し、22年以降に最終黒字体質に変貌。現金収支でも安定的にフリーキャッシュフローの黒字を創出できる強固な財務体質となった。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	2015.79 (08/29)
52週高値(日付)	2047.88 (24/08/27)
52週安値(日付)	1141.04 (23/10/23)
時価総額	1,022億 ^{ドル} 14兆8,173億円
株価変化率(%)	26.4 (過去6ヶ月間) 54.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	72.9 (倍)
株価売上高比率	5.8 (倍)
PBR	28.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	47.4 (%)
株式ベータ	1.34 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	10,537	49	1,034	135	482	5.8倍	9.53	0.00
2023/12	14,473	37	1,823	76	987	105	19.46	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	3,585	—	669	—	262	—	5.16	0.00
2024/Q2	5,073	42	726	9	531	103	10.48	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AIに欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

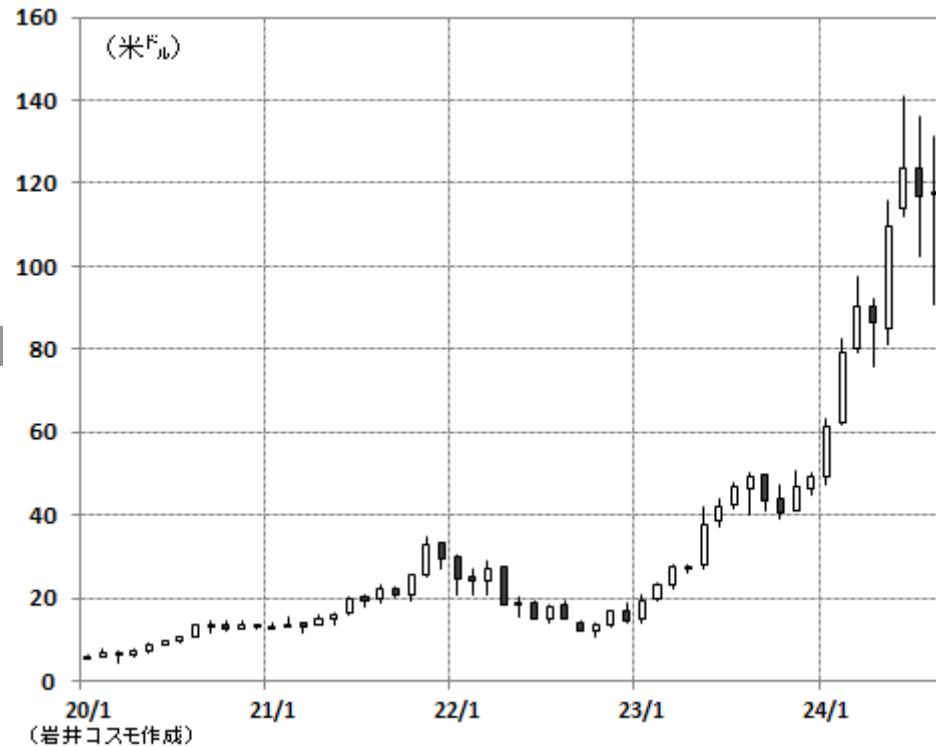
会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行わないファブレスメーカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが78%、ゲーム市場向けが17%、視覚化技術に関するプロ向けが3%、自動車向けが2%、OEM&IPが0.5%(24年1月期)。

注目ポイント

□ **AI半導体で主導権を握る**: 人工知能の計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発。創薬支援等多くの企業と提携、AIで主導権を握りつつある。

□ **500億ドルの追加自社株買い発表**: ジェンソンファンCEOは6月の台湾IT見本市で27年までのGPU製品計画を披露、24年の「ブラックウェル」、25年の「ブラックウェル・ウルトラ」、26年の「ルベリン」、27年の「ルベリン・ウルトラ」となる。5-7月期決算では500億ドルの追加の自社株買い(残余枠39億ドル)を発表、ブラックウェルは11-1月に収益貢献見込み。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	117.59 (08/29)
52週高値(日付)	140.76 (24/06/20)
52週安値(日付)	39.235 (23/10/31)
時価総額	2兆8,845億ドル 418兆2211億円
株価変化率(%)	48.6 (過去6ヶ月間) 141.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	55.1 (倍)
株価売上高比率	30.1 (倍)
PBR	49.7 (倍)
税前配当利回り(%)	0.03 (直近年率)
配当成長率(%)	37.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	123.8 (%)
株式ベータ	1.67 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	0.17	0.02
2024/01	60,922	126	32,972	8倍	29,760	7倍	1.19	0.02

四半期業績

2024/Q2	13,507	—	6,800	—	6,188	—	0.25	0.00
2025/Q2	30,040	122	18,642	2.7倍	16,599	2.7倍	0.67	0.01

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

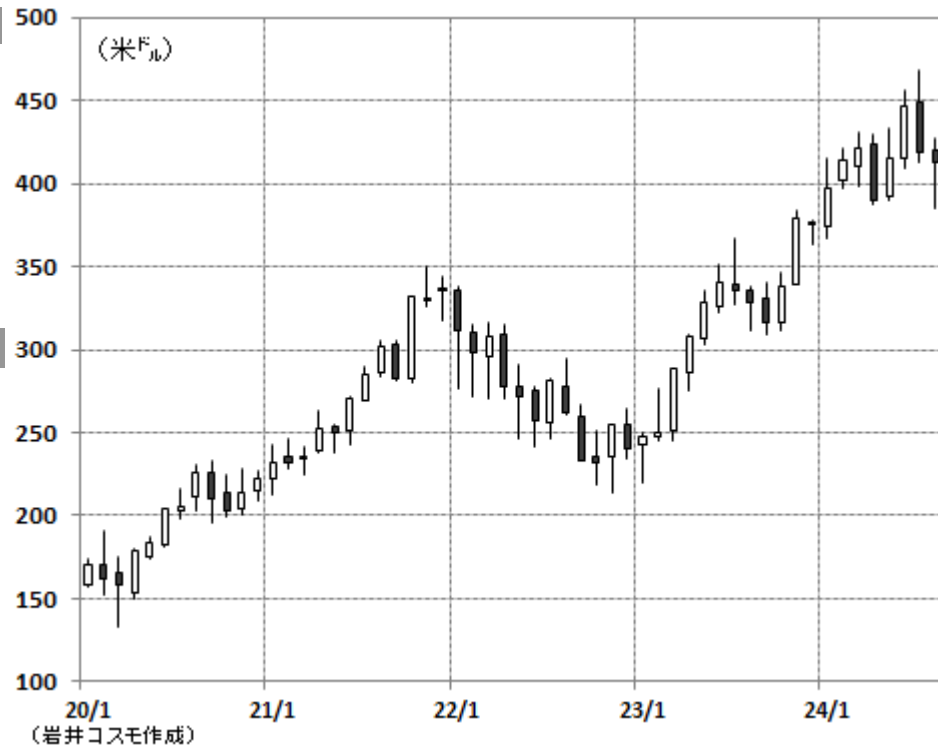
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理等のクラウド「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□ **サポート生成AIが実装・収益貢献**: 23年9月更新の「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスが開始された。出資先のオープンAIの技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。4-6月期の「アジュール」の増収率29%のうち、8ポイントはAIサービスによるもので、寄与度が前四半期の7ポイントから拡大。会社側は今25年6月通期も2桁台の増収・営業増益を見込んでいる。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	413.12 (08/29)
52週高値(日付)	468.33 (24/07/05)
52週安値(日付)	309.49 (23/09/28)
時価総額	3兆0,707億ドル 445兆2261億円
株価変化率(%)	-0.1 (過去6ヶ月間) 25.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.9 (倍)
株価売上高比率	12.5 (倍)
PBR	11.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.73 (直近年率)
配当成長率(%)	10.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	37.1 (%)
株式ベータ	1.07 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.68	2.72
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q4	56,189	—	24,254	—	20,081	—	2.69	0.68
2024/Q4	64,727	15	27,925	15	22,036	10	2.95	0.75

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

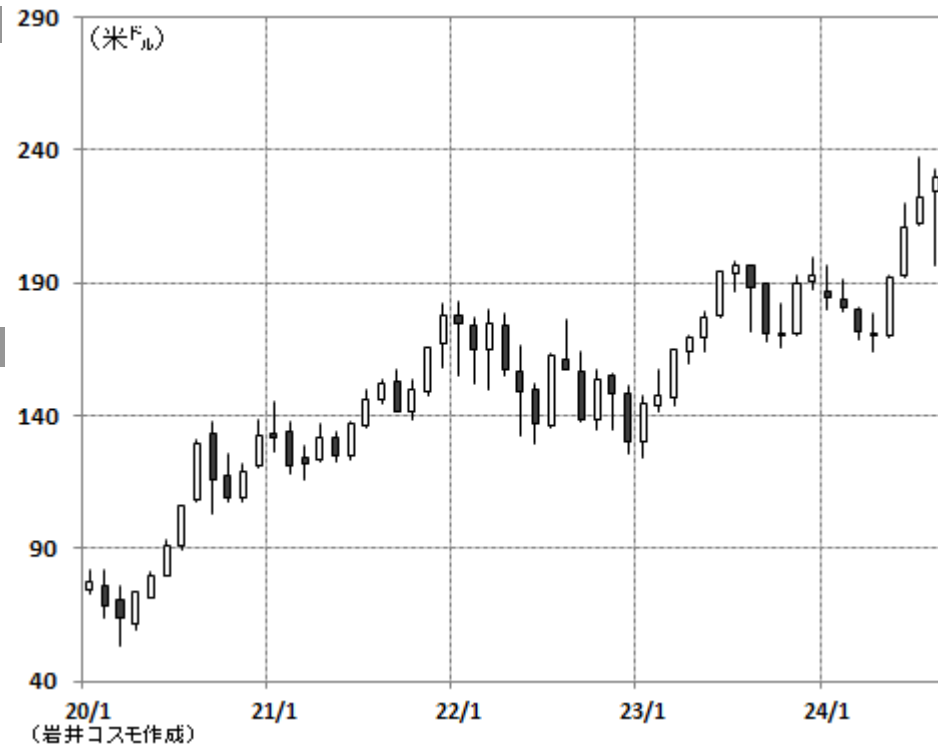
会社概要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **アイパッドとサービス収入で堅調業績**: 4-6月期は前年同期比5%増収、8%最終増益。 아이폰 販売の小幅減収を新型アイパッド販売や音楽・映像・データ保管等のサービスの伸びで補った。7-9月期の増収率見通しは同5%程度(市場予想4%)。9月9日発表の次世代 아이폰 への関心は高い。近日リリースの基本ソフト「 iOS18 」はオープンAIの Chat GPT と統合、テキスト・画像の生成、音声AIの Siri 機能改善等を含む独自のAI「アップル・インテリジェンス」(英語のみ)を開始する。

□ **卓上型ロボット市場参入観測**: 8月半ばに価格を1,000ドル程度に抑えた卓上型ロボットを2026-27年に投入する計画があると報じられた。スマート家電やビデオ会議端末など様々な用途が想定される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	229.79 (08/29)
52週高値(日付)	237.23 (24/07/15)
52週安値(日付)	164.08 (24/04/19)
時価総額	3兆4,938億ドル 506兆5601億円
株価変化率(%)	27.1 (過去6ヶ月間) 24.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	35.0 (倍)
株価売上高比率	9.2 (倍)
PBR	52.4 (倍)
税前提当利回り(%)	0.44 (直近年率)
配当成長率(%)	4.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	160.6 (%)
株式ベータ	1.12 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.940

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	81,797	—	22,998	—	19,881	—	1.26	0.240
2024/Q3	85,777	5	25,352	10	21,448	8	1.40	0.250

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

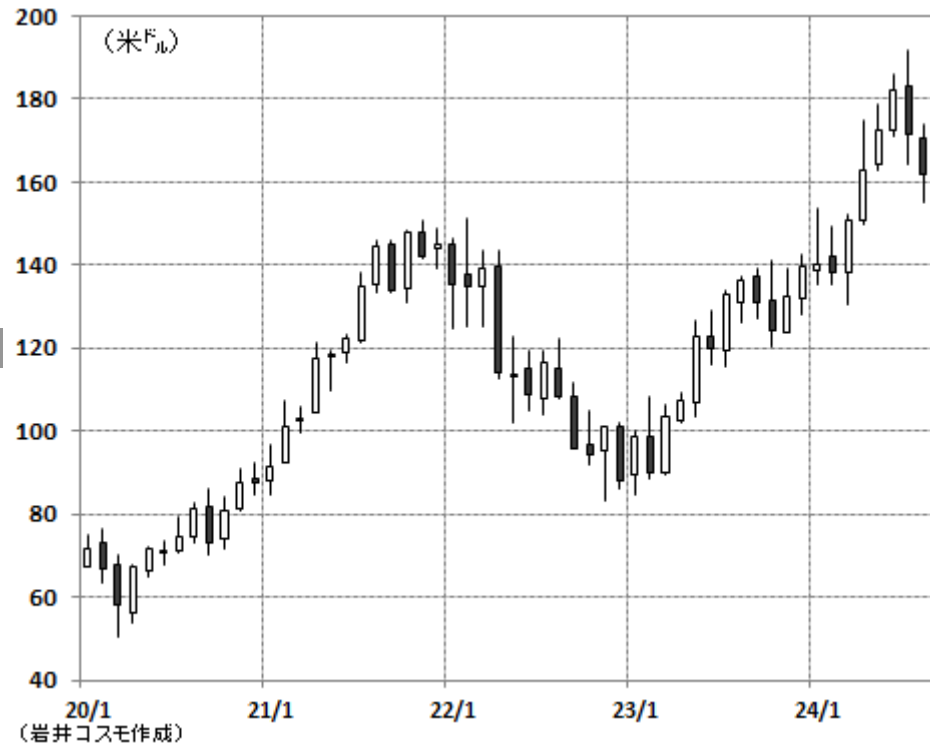
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は179,582人(24年6月末)。

注目ポイント

□ **クラウド事業が拡大、ユーチューブが低調**：4-6月期決算はユーチューブ広告の成長鈍化が見られたが広告収入全体は2桁成長を維持。生成AI製品の実装が進むクラウド部門は初めて売上高100億ドル・営業利益10億ドルの大台を突破し、特に好調だった。グーグルは8月13日に初の折り畳み式スマホとなる「ピクセル9プロ フォルト」を含む、最新AI機能を搭載したスマホ「ピクセル9」シリーズを発表した。

□ **司法省によるグーグル分割要求検討か**：米司法省がグーグルの検索広告の市場独占を理由に、アンドロイドやクローム事業分割や検索連動型広告アワースの売却等を求める可能性があるとして8月半ばに報じられた。正式発表はなく、決着まで何年もかかるが事業リスクとして意識された。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	161.78 (08/29)
52週高値(日付)	191.75 (24/07/10)
52週安値(日付)	120.21 (23/10/27)
時価総額	2兆0,013億ドル 290兆1628億円
株価変化率(%)	16.8 (過去6ヶ月間) 20.2 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	22.8 (倍)
株価売上高比率	6.1 (倍)
PBR	6.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.49 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.9 (%)
株式ベータ	1.14 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00

四半期業績

2023/Q2	74,604	—	21,838	—	18,368	—	1.44	0.00
2024/Q2	84,742	14	27,425	26	23,619	29	1.89	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

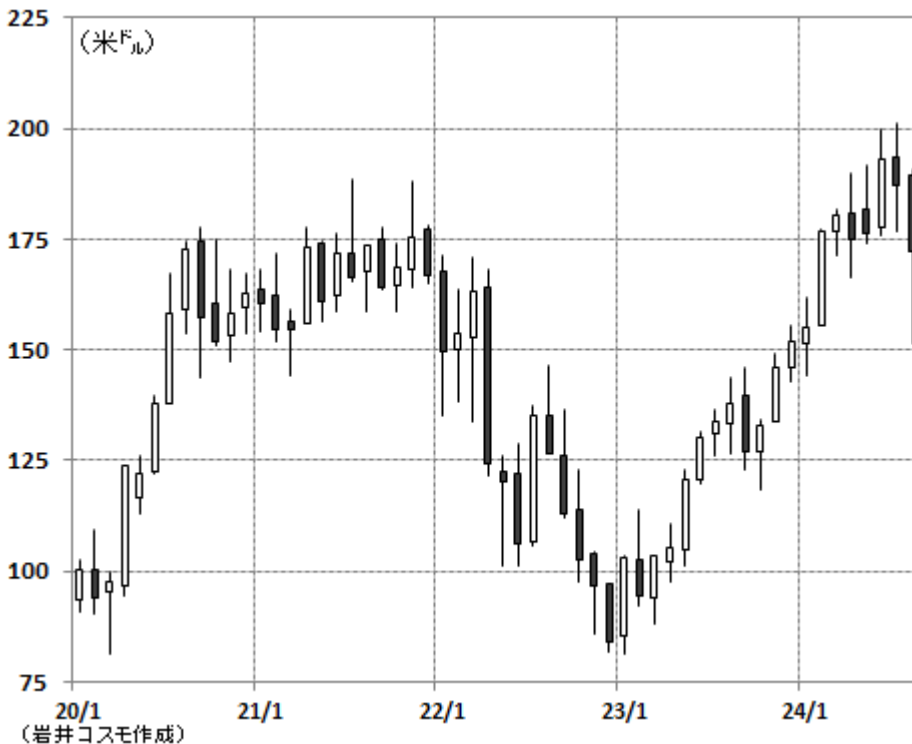
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「Kindleファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **AWS加速・ネット通販も収益性改善**: 4-6月決算は前年同期比2倍の最終増益の着地。経費抑制効果が一巡する中、企業の成長AI利用拡大も追い風にAWS(クラウド)事業の売上成長・再加速と高い利益率を維持が貢献。小売事業は売上がやや低調も配送効率の改善、海外事業を黒字化させた。AWSは生成AIとAI以外もデータ処理量で強い需要が見られたとし、下期は設備投資額を増やす予定。

□ **米国の即配サービスを充実へ**: アマゾン米郵政公社に対抗、翌日・翌々日の配達サービスを全米各地の地方の農村部まで広げる計画であると報じられた。農村部近郊で自動化した配送センターの開設を進め、最終的に米国内顧客の9割前後の自前配送を目指している。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	172.12 (08/29)
52週高値(日付)	201.2 (24/07/08)
52週安値(日付)	118.35 (23/10/26)
時価総額	1兆8,065億ドル 261兆9240億円
株価変化率(%)	-2.6 (過去6ヶ月間) 27.6 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	40.4 (倍)
株価売上高比率	3.0 (倍)
PBR	7.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	21.9 (%)
株式ベータ	1.27 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	134,383	—	7,681	—	6,750	—	0.65	0.00
2024/Q2	147,977	10	14,672	91.0倍	13,485	100	1.26	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

日々30億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

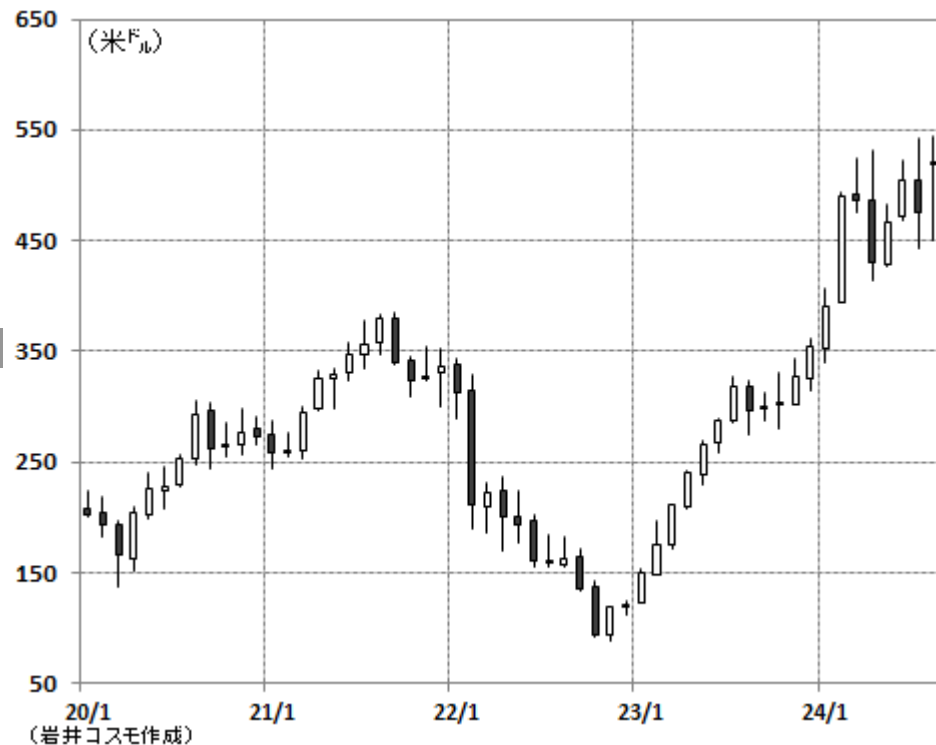
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラムなども含む)は全世界で32.7億人(24年4-6月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。21年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約70,799人(24年6月末時点)。

注目ポイント

□ **広告収入の好調維持**：4-6月期の前年同期比・増収率は+22%と中国格安ECサイトの広告が一巡する中でも好調維持。短編動画広告の収益改善やWhatsAppのビジネスメッセージ等の新タイプの広告がけん引する。またフェイスブックの若年層の利用の増加やストレス(旧ツイッター類似)の月間稼働利用者2億人超え等が明らかになった。

□ **生成AIツールを100万顧客が利用**：同社では広告主向けに広告自動作成ツールを無料提供中、前回決算で7月の利用者が全広告主の1割に相当する100万人を超えたと公表。同ツールでは提供写真を使って別の画像が生成でき、また広告作成のコスト削減に貢献できる。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	518.22 (08/29)
52週高値(日付)	544.2 (24/08/22)
52週安値(日付)	279.49 (23/10/26)
時価総額	13,112億ドル 190兆1050億円
株価変化率(%)	5.7 (過去6ヶ月間) 73.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	25.1 (倍)
株価売上高比率	8.8 (倍)
PBR	8.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.39 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.4 (%)
株式ベータ	1.25 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	31,999	—	9,392	—	7,788	—	2.98	0.00
2024/Q2	39,071	22	14,847	58	13,465	73	5.16	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー最大手

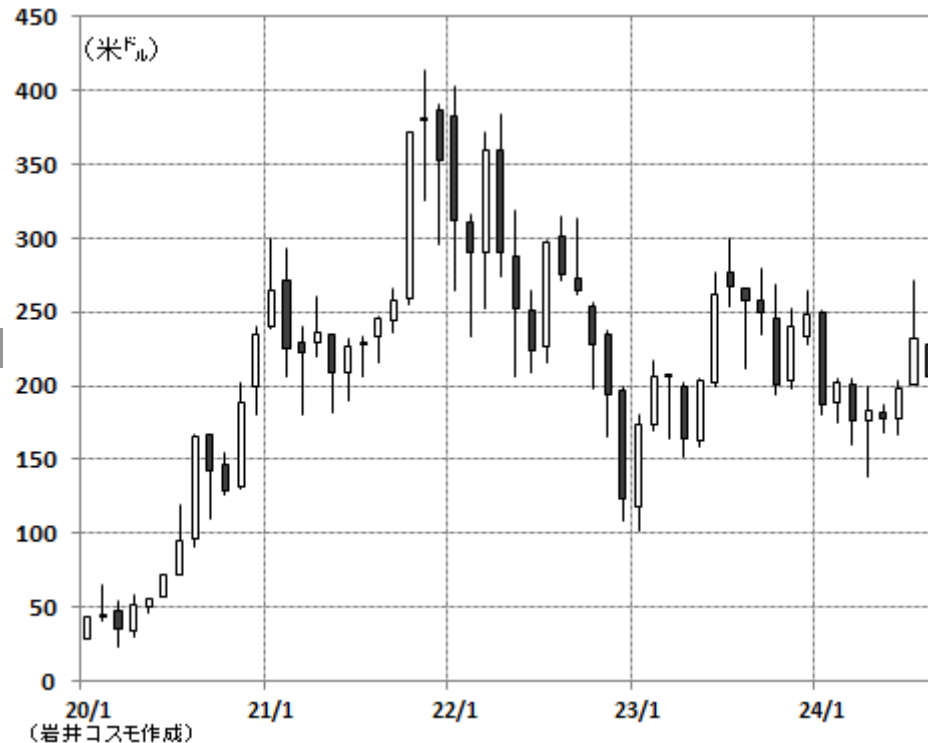
会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□ **予想外の増収決算も利益は市場予想下振れ**: 4-6月期業績は蓄電池等のエネルギー事業やサービス収入が伸び、前年同期比7%減収の自動車事業の不振を補った。一方、1株利益は市場予想に4四半期連続で下振れた。EVは生産調整の後、7-9月期に再び増産に転じるが、年間納車台数は前年より大きく減る見込みとした。

□ **ロボタクシー構想、人型ロボット**: 8月8日に予定だった自動運転タクシーに関するイベントは10月10日に延期。技術面と当局承認のハードルを指摘、導入時期は不透明とした。人型ロボット「オプティマス」は既に自社工場で作業を手伝い、2026年の量産化・外部販売を計画する。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	206.28 (08/29)
52週高値(日付)	278.97 (23/09/15)
52週安値(日付)	138.82 (24/04/22)
時価総額	6,590億 ^{ドル} 95兆5470億円
株価変化率(%)	2.2 (過去6ヶ月間) -19.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	102.9 (倍)
株価売上高比率	6.9 (倍)
PBR	9.9 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	21.1 (%)
株式ベータ	1.63 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/Q2	24,927	—	2,399	—	2,703	—	0.78	0.00
2024/Q2	25,500	2	1,605	-33	1,478	-45	0.42	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業、肥満症薬やアルツハイマー型認知症薬に脚光

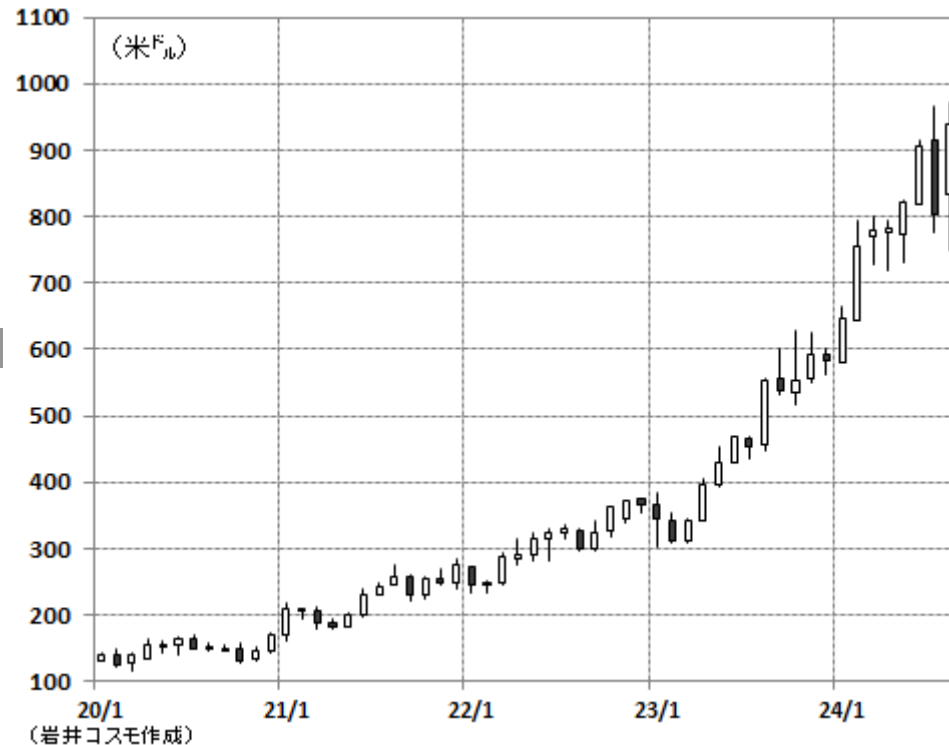
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコロジーを買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリヘイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **肥満症薬で脚光、新薬開発も充実**: 2型糖尿病治療薬「マンジャロ」と同成分の肥満症治療薬「セブパウト」が業績のけん引役。両薬は「GLP-1/GIP受容体作動薬」で食欲抑制効果があり、肥満症薬市場の急成長の一翼を担う。4-6月決算で増産体制を整備し、欠品状態は一時的に解消と発表。肥満症治療薬では注射剤の「レタルトルチド」と経口タイプの「オルフォルグリブロン」も開発中。7月にアルツハイマー型認知症薬「キンスラ」が米FDAの新薬承認を獲得した。

□ **肥満症の心不全患者の適応拡大へ**: 「セブパウト」を使用した心不全患者の健康状態が改善した治験結果を受けて、肥満症の心不全患者対象の適応拡大を米FDAに24年下期に申請予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	940.2 (08/29)
52週高値(日付)	972.24 (24/08/27)
52週安値(日付)	516.71 (23/10/03)
時価総額	8,936億ドル 129兆5617億円
株価変化率(%)	24.7 (過去6ヶ月間) 69.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	77.0 (倍)
株価売上高比率	21.8 (倍)
PBR	65.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.55 (直近年率)
配当成長率(%)	15.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	59.6 (%)
株式ベータ	0.62 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92
2023/12	34,124	20	6,555	-4	5,240	-16	5.80	4.52

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	税引前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	8,312	—	2,089	—	1,763	—	1.95	1.13
2024/Q2	11,303	36	3,517	68	2,967	68	3.28	1.30

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトバンク傘下の半導体設計技術会社、スマホ以外の市場でシェア拡大

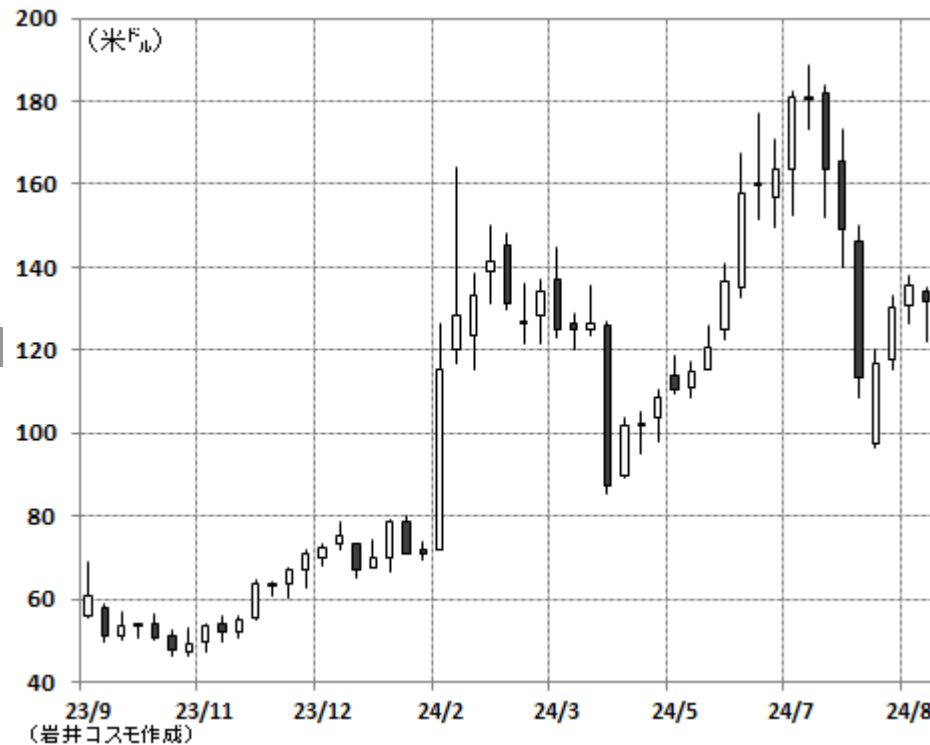
会社概要

ソフトバンク傘下の英半導体設計大手で半導体製造は行わず、低消費電力型プロセッサの設計技術を世界中の半導体メカ等にライセンス提供。パソコン、スマホ、データセンター、自動車、ネットワーク機器などの様々な半導体に同社設計の回路が使用されている。主要顧客はアップル、アマゾン、エヌビディア等。創業は1990年、2016年にソフトバンクGが同社を買収(現在9割保有)、2023年9月にナスダック市場に再上場した。

注目ポイント

□**省電力半導体設計に強み**：プロセッサの電力効率の高さが強みで自動車やサーバ/クラウド/IoT向けでも採用が拡大。22年の市場シェアはスマホ向けCPUで99%とほぼ独占、クラウドデータ向けでも20年の7.2%から10.1%へ上昇、特にエヌビディア製CPUやアマゾンやマイクロソフト、アルファベットの自社製半導体でもアームの技術が活用され、今後の成長に寄与する見込み。

□**最新の設計仕様ほど使用料高く**：AI(人工知能)の演算処理など高性能化に伴い、アームが定めた1個の半導体製造に係る設計仕様(アーキテクチャ)の利用料も上昇。今期増収率を+18~27%とし、また来26・翌27年度の2割増収が可能との見方を5月に示した。



株価チャート(上場来・週足)

株価データ	
株価(米ドル)	131.93 (08/29)
52週高値(日付)	188.74 (24/07/09)
52週安値(日付)	46.51 (23/10/20)
時価総額	1,383億 ^{ドル} 20兆0,467億円
株価変化率(%)	-6.5 (過去6ヶ月間) — (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	318.6 (倍)
株価売上高比率	39.0 (倍)
PBR	24.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.6 (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/03	2,679	-1	671	6	524	-5	0.51	0.00
2024/03	3,233	21	111	-83	306	-42	0.29	0.00

四半期業績

2024/Q1	675	—	111	—	105	—	0.10	0.00
2025/Q1	939	39	182	64	223	112	0.21	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

世界最大の半導体受託製造企業、先端半導体に強く、AI向けで高いシェア

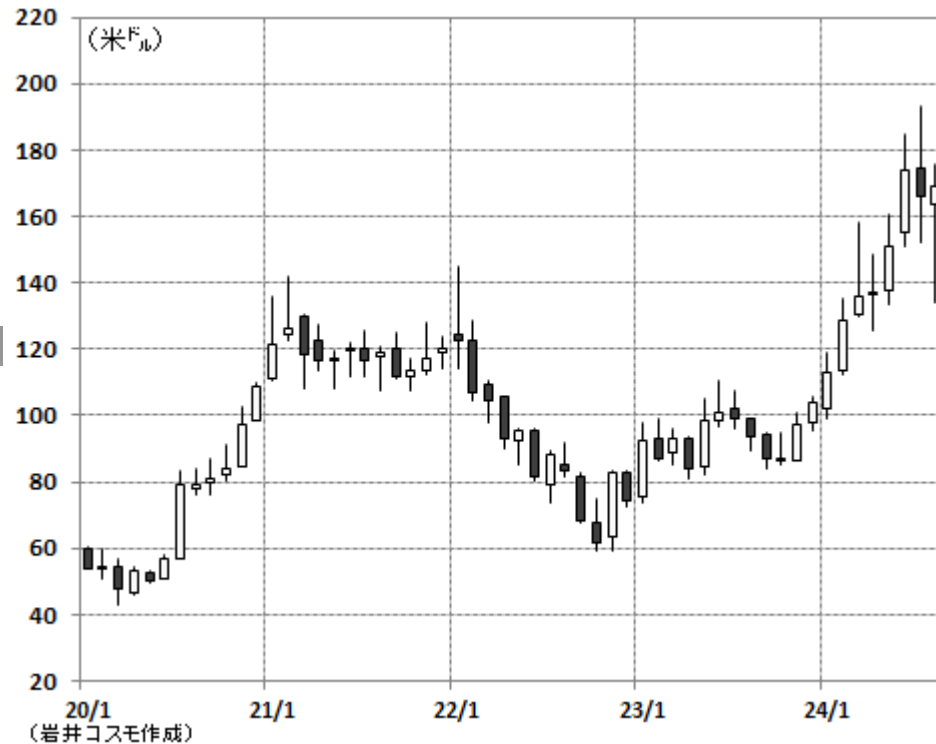
会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計/製造/販売を一切せず、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして2023年には528の顧客企業を対象に11,895個の製品を製造。製造する半導体はコンピュータ/通信/産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用される。台湾・ニューヨーク市場に重複上場。毎月原則10日に前月売上を発表。

注目ポイント

□ **先端半導体で9割のシェア**：主要顧客にアップルやエヌビディア、クアルコム、AMD、ブロードコムなど世界的大企業を抱え、最大顧客のアップルは全売上高の2割程を占めると見られる。顧客企業はスマホやサーバー等に使用される先端半導体の製造を委託。ファウンドリのシェアで5割超、AI等に使用される先端半導体でシェア9割を誇る。

□ **台湾・日本・米国・ドイツに半導体工場を建設**：各国政府が半導体を重要産業として補助金等で支援体制を取る中、同社は台湾の先端品工場を含む、日本・熊本、米アリゾナ、独トレステンに新工場を建設をする計画。熊本工場は2月に開所、年末量産開始を予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	169.15 (08/29)
52週高値(日付)	193.4 (24/07/11)
52週安値(日付)	84.02 (23/09/26)
時価総額	8,773億ドル 127兆2048億円
株価変化率(%)	31.5 (過去6ヶ月間) 77.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	30.3 (倍)
株価売上高比率	11.5 (倍)
PBR	7.4 (倍)
税前配当利回り(%)	1.46 (直近年率)
配当成長率(%)	14.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	26.4 (%)
株式ベータ	1.21 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	1株利益 (台湾ドル)	配当 (台湾ドル)
2022/12	2,263,891	—	1,121,279	—	992,923	—	191.46	55.00
2023/12	2,161,736	-5	921,466	-18	851,740	-18	164.24	65.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	480,841	—	201,958	—	181,799	—	35.06	13.75
2024/Q2	673,510	40	286,556	42	247,845	36	47.79	17.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

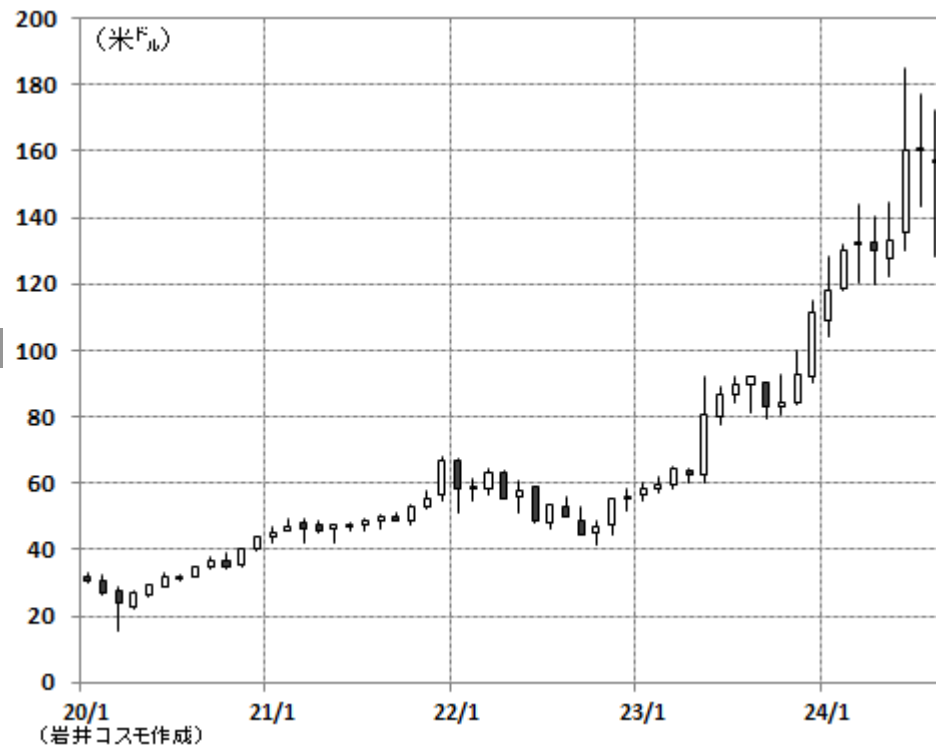
会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

□ **カスタム半導体等のAI半導体を供給**: 同社は巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給。データセンター投資活発化を追い風に会社側は、これらのAI半導体の24年10月期の売上高は110億ドルを見込んでいる。

□ **買収企業をてこ入れ**: 仮想化ソフト世界最大手のVMウェアを23年11月に取得、6月の前回決算では取得後の収益性は低下したものの、完全サブスク化を進め、収益性を回復軌道に乗せると言及した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	156.93 (08/29)
52週高値(日付)	185.162 (24/06/18)
52週安値(日付)	79.54 (23/09/21)
時価総額	7,305億ドル 1,05兆9,139億円
株価変化率(%)	20.7 (過去6ヶ月間) 76.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	59.6 (倍)
株価売上高比率	16.1 (倍)
PBR	10.4 (倍)
税前配当利回り(%)	1.34 (直近年率)
配当成長率(%)	13.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.3 (%)
株式ベータ	1.44 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	33,203	21	14,225	67	11,223	74	26.53	16.40
2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	32.98	18.40

四半期業績

2023/Q2	8,733	—	4,008	—	3,481	—	8.15	4.60
2024/Q2	12,487	43	2,965	-26	2,121	-39	4.42	5.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

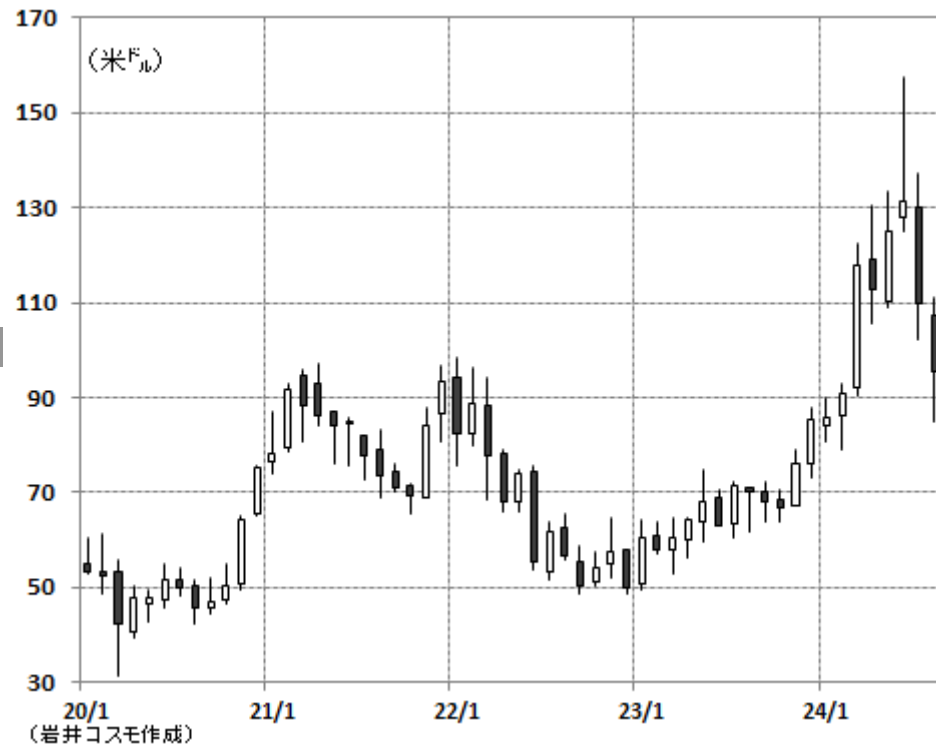
米半導体メモリ大手、AI普及やクラウド化を背景に新分野の需要が拡大

会社概要

1978年設立の半導体メモリ製造大手。DRAM分野では2013年に日本のエルピーダメモリ、16年に台湾・華亜科技を買収。韓国サムスン、SKハイニックスに次ぐ業界3位に位置(22年市場シェア)。製品別売上構成比(前期)はDRAMが71%、NANDフラッシュ27%、その他2%。DRAMは省電力型の半導体メモリ。NANDフラッシュは電気を切っても記憶内容が消去されない特徴を持ち、単価はDRAMより高い。

注目ポイント

- **超高速メモリを量産開始、エヌビディアに納入**：2月に超高速・高性能のHBM(広帯域幅メモリ)の量産化を開始、エヌビディアのAI用GPUと共に使用され、25年まで注文が埋まり、価格契約も大半が交渉済みの状況。25年のHBMの市場シェア約25%(現1割)を目指す。
- **2四半期連続黒字**：メモリ市況はコロナ特需の反動から需給バランスが崩れ価格低迷したが、生産調整の後、23年後半に価格が回復。24年3-5月期まで2四半期連続で黒字を達成。省エネ性能に優れた「HBM3E」は1億ドル超を売り上げた。会社側は汎用製品の需要回復期待とHBMの増産対応で25年度の過去最高の売上を見込む。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	95.57 (08/29)
52週高値(日付)	157.52 (24/06/18)
52週安値(日付)	63.84 (23/09/28)
時価総額	1,060億ドル 15兆3,649億円
株価変化率(%)	5.5 (過去6ヶ月間) 43.3 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	4.9 (倍)
PBR	2.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.48 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-3.4 (%)
株式ベータ	1.40 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/08	30,758	11	9,702	54	8,687	48	7.75	0.430
2023/08	15,540	-49	-5,745	赤転	-5,833	赤転	-5.34	0.460

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	3,752	—	-1,761	—	-1,896	—	-1.73	0.115
2024/Q3	6,811	82	719	黒転	332	黒転	0.30	0.115

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

半導体製造装置(前工程)大手、半導体の微細・精密化による検査需要拡大で恩恵

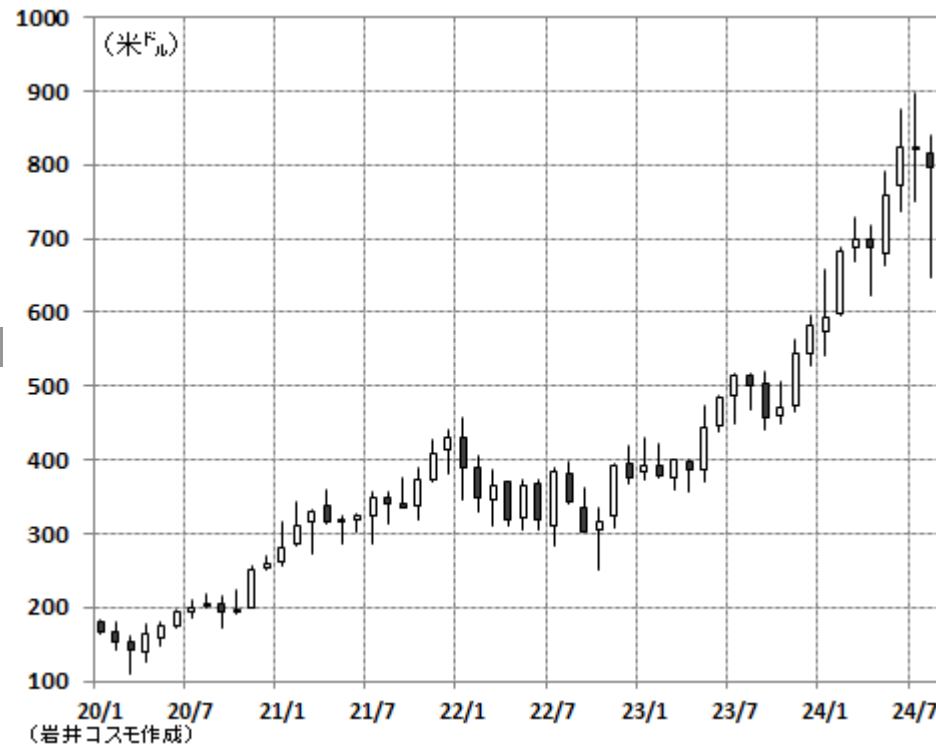
会社概要

半導体製造前工程の検査装置大手。半導体や小型電子機器向けに検査装置や歩留まり解析システムを製造・販売。半導体プロセス・コントロール(SPC)部門の売上が売上高全体の9割を占め、検査装置/計量装置/データ分析装置及び、関連サービスを半導体メーカーに提供。1975年創業、1997年に同業テックと経営統合、2019年にイスラエルの同業オルホテックを買収。競合先に日本のレーザーテックがある。

注目ポイント

□ **業界団体は市場拡大を予測**：SEMI(世界半導体製造装置材料協会)では、24年7月にDRAM関連投資が大幅に伸びること等を理由に24-25年の半導体製造装置市場の予測値を1,095億ドル、1,276億ドルと従来から増額修正、過去最高を更新する見込み。

□ **微細化・複雑化で需要増**：先端半導体の回路線幅が2ナノメートル世代へ微細・精密化するのに伴い、同社では測定装置や欠陥検査装置、先端パッケージング装置の売上拡大が見込まれる。24年4-6月期のSPC部門売上高は前年同期比10%増と好調。会社側はAI需要の拡大は会社想定以上のペースで進展しているとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	795.75 (08/29)
52週高値(日付)	896.32 (24/07/11)
52週安値(日付)	440.15 (23/09/27)
時価総額	1,070億ドル 15兆5,094億円
株価変化率(%)	16.6 (過去6ヶ月間) 59.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	33.4 (倍)
株価売上高比率	11.0 (倍)
PBR	31.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.73 (直近近年率)
配当成長率(%)	11.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	87.8 (%)
株式ベータ	1.52 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/06	10,496	14	3,789	9	3,387	2	24.15	5.20
2024/06	9,812	-7	3,190	-16	2,762	-18	20.28	5.65

四半期業績

決算期	売上高	前同比	税引前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	2,355	—	776	—	685	—	4.97	1.30
2024/Q4	2,569	9	945	22	836	22	6.18	1.45

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

次世代ファイアウォール機器専門大手、統合型セキュリティ企業として存在感増す

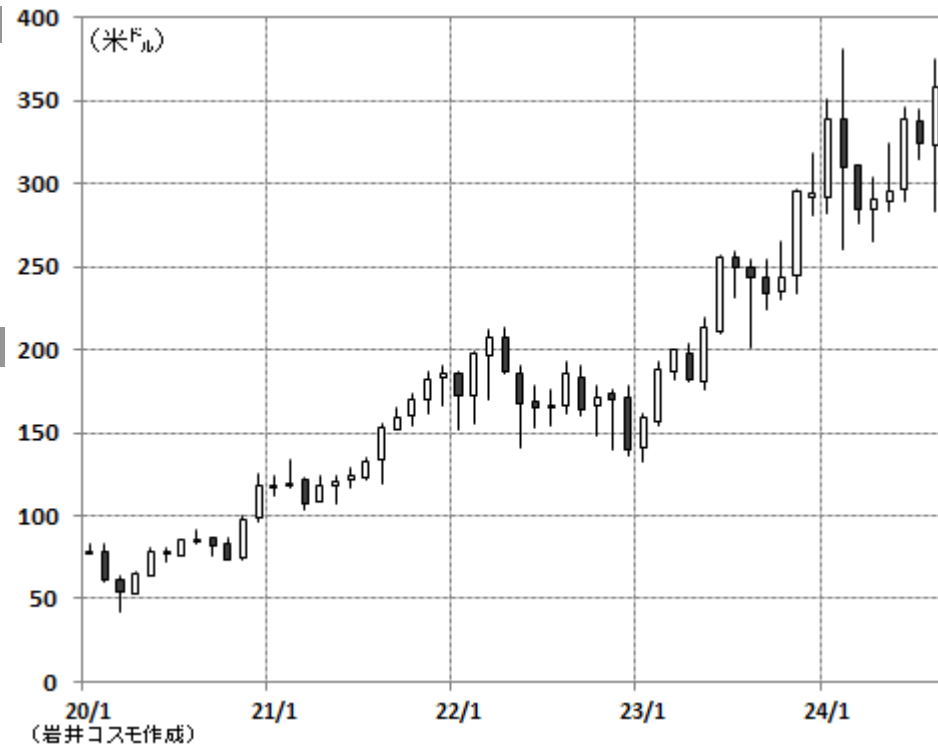
会社概要

2005年設立の「次世代ファイアウォール」機器の専門大手。高度なソフトウェアが組み込まれた製品は、インターネット・セキュリティ上の「ファイアウォール（防火壁）」となり、外部ネットワークからの攻撃や不正なアクセスに対して自分達のネットワークやコンピュータを防御する役割を担う。次世代ファイアウォールの特徴は包括的なセキュリティ対策を高速処理で行う点にある。M&Aにも長け業容拡大、本社はカリフォルニア州サンタクララ。

注目ポイント

□**統合型セキュリティ企業としての強み**：全世界で6万団体超の顧客を抱え、日本ではインターネットイニシアティブ/サイバーエージェント/KDDI/東京大学等に導入実績あり。外からの攻撃を守るファイアウォールや最終端末防御、クラウド保護など幅広く網羅する統合型サービスが強み。IT予算抑制の外部環境でも従来型企業から市場シェアを奪取してきた。

□**プラットフォーム化戦略を推進**：ネットワーク/クラウド/セキュリティ運用の3つの製品をセット販売する戦略でシェア拡大・顧客囲い込みを画策。次世代セキュリティの2030年度の年間経常収益目標150億ドル(24年7月時点：約42億ドル)を掲げ、業界専門トップ企業ながら更なる飛躍を目指している。移管・販促の無料キャンペーンが25年度も続く。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	358.21 (08/29)
52週高値(日付)	380.84 (24/02/09)
52週安値(日付)	224.64 (23/09/25)
時価総額	1,160億ドル 16兆8,172億円
株価変化率(%)	15.3 (過去6ヶ月間) 53.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	138.3 (倍)
株価売上高比率	14.3 (倍)
PBR	22.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	74.5 (%)
株式ベータ	1.26 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/07	6,893	25	387	黒転	440	黒転	1.28	0.00
2024/07	8,028	16	684	77	2,578	5.9倍	7.28	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	1,953	—	254	—	228	—	0.64	0.00
2024/Q4	2,190	12	238	-6	358	57	1.01	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

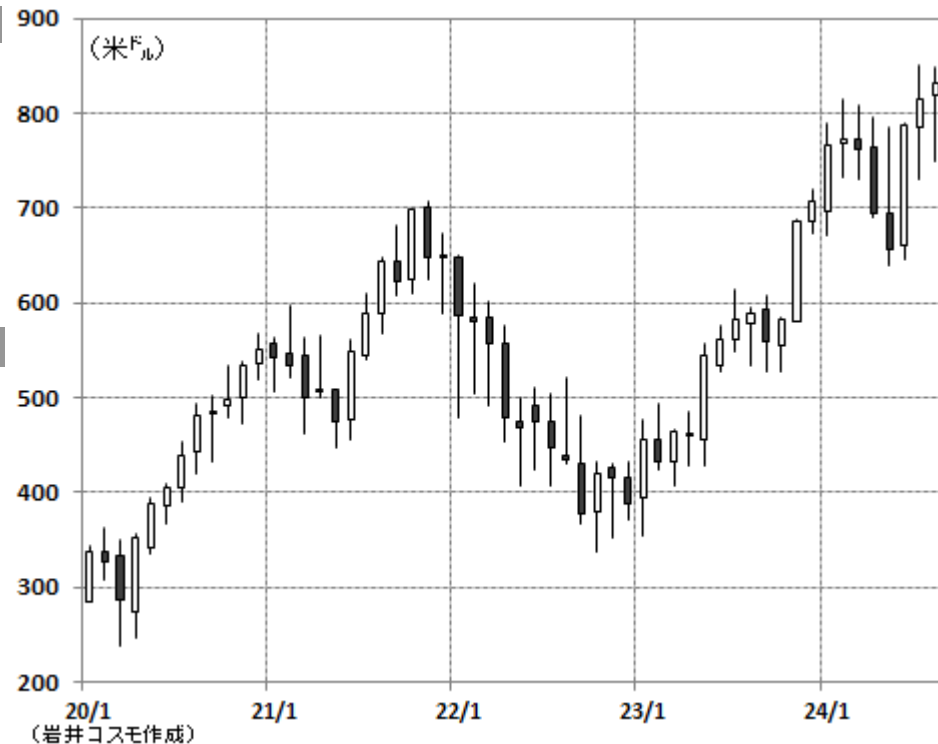
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、顧客数は8,100社超。地域別売上(23年度)は北米64%、欧州等26%、アジア/太平洋が11%。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は23,362名(24年3月末)。2019年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する業務自動化クラウド企業**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、経費節減と社内業務の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **生成AI製品「ナウアシスト」が急成長**：昨年投入されたAI製品「ナウアシスト」の新規年間契約額は24年4-6月期に前四半期比2倍と急成長。導入済みの企業ではIT相談や顧客対応窓口で過去の蓄積した内容を踏まえAI機能が自動返答し、労働時間が短縮化したという。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	831.27 (08/29)
52週高値(日付)	850 (24/07/25)
52週安値(日付)	527.41 (23/10/25)
時価総額	1,712億ドル 24兆8,283億円
株価変化率(%)	7.8 (過去6ヶ月間) 43.6 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	143.4 (倍)
株価売上高比率	17.1 (倍)
PBR	19.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	14.7 (%)
株式ベータ	1.54 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	7,245	23	355	38	325	41	1.60	0.00
2023/12	8,971	24	762	115	1,731	5.3倍	8.42	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	2,150	—	117	—	1,044	—	5.08	0.00
2024/Q2	2,627	22	240	105	262	-75	1.26	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

IT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウドやAI分野で収益基盤を再構築

会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許の取得件数の年間ランキングで上位の常連組。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだものの、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□**ハイブリッドクラウドとAIを強化**：2019年にオープンソースソフト大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、オンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」とAI(人工知能)等の分野に経営資源のシフトを図った。日本の次世代半導体量産化を目指す、ラピダスにはIBMが半導体の技術供与している。

□**M&Aを通じてクラウド・サービスを強化**：IBMはクラウドインフラを管理するソフトウェアを手掛けるハシコブを64億ドルで4月に買収すると発表、年内取得完了を見込む。複雑化したクラウド環境に対応してコンサルから運用等まで包括的なクラウドサービスを提供する狙いがある。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	198.9 (08/29)
52週高値(日付)	201.12 (24/08/29)
52週安値(日付)	135.87 (23/10/23)
時価総額	1,832億ドル 26兆5,645億円
株価変化率(%)	7.5 (過去6ヶ月間) 35.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	21.3 (倍)
株価売上高比率	2.9 (倍)
PBR	7.6 (倍)
税前配当利回り(%)	3.36 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	36.5 (%)
株式ベータ	0.76 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	60,530	6	1,156	-76	1,639	-71	1.80	6.59
2023/12	61,860	2	8,690	7.5倍	7,502	4.6倍	8.14	6.63

四半期業績

2023/Q2	15,475	—	2,000	—	1,583	—	1.72	1.66
2024/Q2	15,770	2	2,219	11	1,834	16	1.96	1.67

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手、広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年6月末時点の会員数は全世界で約2.78億人。

注目ポイント

□ **広告販売強化**: 5月半ばに広告付きプランの会員数が4,000万人に達したことを公表、4-6月期は提供地域の新規契約の約半分を占めた。同社は広告配信の提携先にマイクロソフトを選択したが、今後トレードデスクやグーグルも加わる。25年末までに自社開発した広告配信技術を実装し広告主に直接、宣伝効果の測定を提供する予定。

□ **アカウント共有の厳格対処がユーザ数の増加要因に**: ネットフリックスでは1億人程度が料金を支払わずに同社のアカウントを利用していると推定、他人のアカウントを共有している視聴者に厳しく対応する措置を各地で積極化。上記措置と広告付きプラン効果で、4-6月期の会員純増数は805万人と1-3月期の933万人に続き高水準を維持。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	692.48 (08/29)
52週高値(日付)	711.07 (24/08/20)
52週安値(日付)	344.73 (23/10/18)
時価総額	2,972億ドル 43兆0,893億円
株価変化率(%)	14.9 (過去6ヶ月間) 61.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	43.8 (倍)
株価売上高比率	8.3 (倍)
PBR	13.4 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	31.6 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	8,187	—	1,827	—	1,488	—	3.29	0.00
2024/Q2	9,559	17	2,603	42	2,147	44	4.88	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

天然ガス等のパイプライン運営企業、電力源としての天然ガス需要増に期待

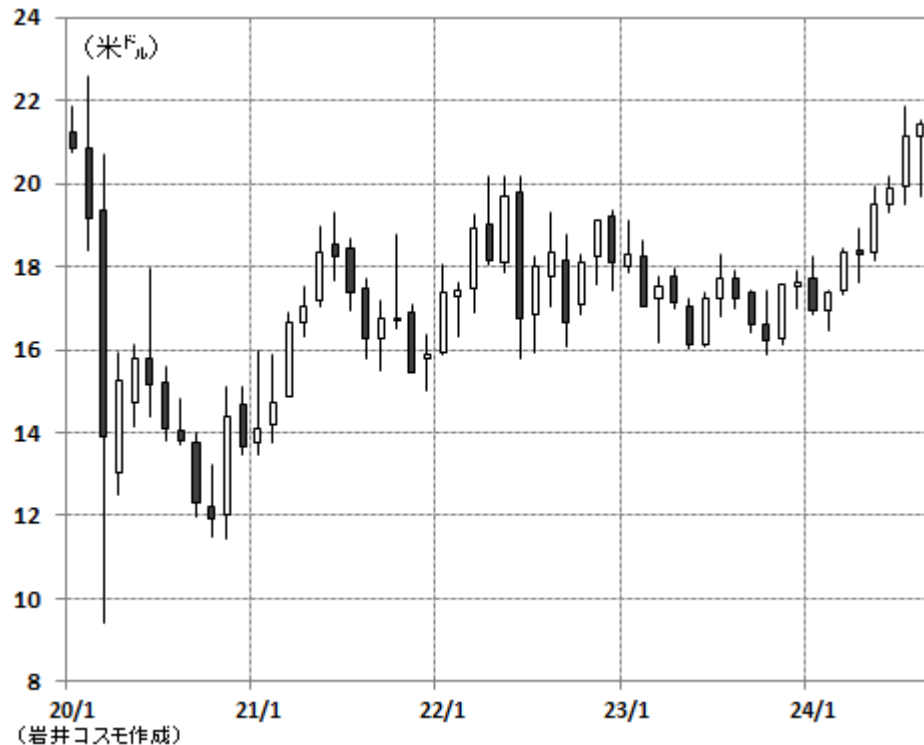
会社概要

北米最大級のエネルギー・インフラ企業。収入の約6~7割を天然ガス用パイプラインの運営から得る。他石油化学製品のパイプライン運営、貯蔵用施設の管理等、中流事業に従事。23年末時点で総延長4.4万マイル(約7万km)のパイプラインを保有。コスト抑制・安全操業・環境配慮の同時実現しながら株主価値を高め、株主還元することを標榜。本社はテキサス州ヒューストン、従業員数は10,891人(23年末時点)。

注目ポイント

□**天然ガス需要増を楽観視**: 天然ガス価格は低迷するが、会社側はAIの運用やデータセンター向けの電力源として天然ガス需要が高まっていると楽観視。天然ガス・パイプラインの需要は増加基調を辿り、2030年にかけてLNG輸出需要が現行水準から2倍に増え、メキシコ向け輸出も50%超増加すると予測。6月末時点のプロジェクト受注残は3月末の33億ドルから53億ドルに急増した。

□**トランプ氏の政策で恩恵享受**: トランプ前大統領は掘削許可プロセスを緩和、天然ガス・パイプラインの新設を奨励、化石燃料の生産量を増やすことを目指している。同社にとってトランプ氏の大統領返り咲きは、規制緩和を通じて事業拡大しやすくなることが期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	21.42 (08/29)
52週高値(日付)	21.86 (24/07/22)
52週安値(日付)	15.895 (23/10/04)
時価総額	475億ドル 6兆8,930億円
株価変化率(%)	23.2 (過去6ヶ月間) 22.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	20.4 (倍)
株価売上高比率	3.1 (倍)
PBR	1.6 (倍)
税前配当利回り(%)	5.37 (直近年率)
配当成長率(%)	1.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.0 (%)
株式ベータ	0.67 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	19,200	16	4,065	39	2,548	43	1.12	1.11
2023/12	15,334	-20	4,263	5	2,391	-6	1.06	1.13
四半期業績								
2023/Q2	3,501	—	1,030	—	586	—	0.26	0.2825
2024/Q2	3,572	2	1,038	1	575	-2	0.26	0.2875

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。